

日野市観光協会だより

第11号 (平成24年3月発行)

特定非営利活動法人 日野市観光協会
<http://www.shinsenhino.com/>



協力ボランティアの方々 1月29日

冬晴れの空のもと、宮城県石巻市復興支援活動の一助として(株)東芝提供事務備品の清掃及び搬出活動が行われました。

この活動は観光協会が昨年10月に実施した会員研修旅行で、現地の方に話を伺ったことがきっかけとなりました。参加して下さったのは初回より清掃のノウハウを提供していただいた(株)ケネック様をはじめ、日野市明るい社会をつくる会様、東京日野プロバスクラブ様、日野市社会福祉協議会から募集していただいた明星大学、実践女子大学、都立日野台高校の学生と同協議会登録ボランティアの皆様、日野新選組同好会様、そして観光協会会員の皆様です。清掃から搬出まで、延べ5回にわたり寒い中ご協力ありがとうございました。

行って来ました、被災地視察・研修旅行!!

10月3日・4日、今回の研修旅行は被災地支援を兼ねて東北の地へ足を伸ばしました。視察場所は最も津波被害が甚大だったと言われる石巻市へ。

地元の方に案内をお願いし、バスの車窓より被災状況を確認して廻りました。

TVの映像では観ていたものの、360度パノラマで実際の状況を目の当たりにしてみると、筆舌に尽し難く鬼気迫る光景が広がっておりました。改めて長期にわたる支援が必要である事を実感致しました。

途中、海岸線の近く、地元の人々によって築かれた「がんばろう石巻」の横断幕が掲げられた鎮魂の



場に於いて、献花と共に川澄理事長を導師に御経を上げて頂き、全員でお参りを致しました。何とも心静まるひと時でありました。青く穏やかな海に物悲しさを感じました。

泊まりは日本三景、松島で。平穩に暮らせる幸せを胸に、和気藹々の夜を過ごしました。

今回の旅行が縁で、澤田会員を通じて(株)東芝様より提供の物資を贈らせていただいた事は大きな収穫でした。
(研修部 小峰)

石巻市復興支援に (株)東芝提供のオフィス備品送る (日野工場で使用していたもの)

日野市観光協会は、平成23年10月3・4日の両日、東日本大震災の津波被害の大きかった石巻市への研修旅行を行いました。それまで新聞、テレビ等を通じ、津波被害の悲惨さについては、ある程度認識していたつもりでしたが、現地を訪ねその生々しい状況にふれ大きな衝撃でした。自分に出来る事は無いのかと考えた時、(株)東芝事務備品の活用を思い立ちその場で(株)東芝に電話を入れ寄付の確認を取りました。現地を案内いただいた地元の方に其の旨をお話したところ「総てを失い何も残っていないので、ぜひ戴きたい」とのお話しでした。その後石巻市役所が窓口となり、必要



備品の希望を石巻市漁業協同組合関係者を中心に募り、21社より事務机・椅子100セットを初め、ロッカー・棚等16種1000点程の品を12月4日、20屯トラック4台に隙間がない程満載し石巻市に搬送しました。また、その後追加要請があり、第2便として約20種類400点程の品を2月10日、20屯車3台に満載し搬送しました。

お届けにあたり、清掃ボランティアを募りましたが、川澄理事長初め延べ220人ものご協力を頂き心込めて送る事が出来ました。
(澤田)

「叱られる幸せ」出版記念祝賀会



昨年12月3日、川澄祐勝理事長の著書「叱られる幸せ」の出版記念のお祝いと、目出度く健康で迎えられました傘寿のお祝いを、京王プラザホテル八王子に於いて、地元各種団体有志の皆様方を始め、各界著名の皆様のご参列をいただき、盛会のうちに記念祝賀会を挙げる事ができました。

先ず、江戸消防記念会第九区の皆様方の声高らかに、いなせな木遣り唄を先頭に、川澄理事長・令婦人とお揃いのご入場に、会場はわれんばか

りの拍手に包まれ、続いてご来賓の挨拶、記念品・花束贈呈・鏡開き・乾杯、と和やかに歓談に移り、アトラクションでは、日野市の行事や高幡不動尊行事に縁があります、歌手のつのだ☆ひろさんのパワフルな歌などもあり、有意義な祝宴が華やかなうちに終了いたしました。

「叱られる幸せ」出版記念祝賀会

実行委員長 亀田宇三郎

副実行委員長 谷井 正剛

おもてなし観光パワーアップ事業

平成23年度の新規事業で、日野市からの委託事業として実施しています。

この事業は、既存の観光施設の状況や観光客の動向等を考慮しながら、観光振興事業を実施し、どうすれば日野市の観光事業をパワーアップできるかを検討するものです。

実施した内容は、高幡不動尊、多摩動物公園、



新選組関連施設等にヒアリング調査をさせていただき、現在の観光客のニーズや今後の観光事業のあり方を検証し、結果をまとめました。

パワーアップ事業の一環として「たかはたもみじ灯路」との連携イベントを試み、11月23日(祝)に「自由・きままにひのをめぐろう!」「新選組ガイドツアー」を実施し、多くの方に日野の魅力を知っていただきました。また、その中でアンケート調査を行い、市外の方も含めて478名の方から回答をいただきました。今後の観光振興の貴重なデータを収集することができました。

その他には、日野市内に6カ所ある新選組関連資料館・史跡を1日で巡るモデルコースを2コース紹介するマップを作成しました。また、市内の観光施設等をわかりやすく紹介するために、新たにA4版・カラー印刷・16ページの観光パンフレットを作成しています。(石橋)

これまでの事業報告

◆第11回ひのよさこい祭

前夜からの雨により第7公園会場が使用できませんでしたが、多摩平商店街会場では43チーム、1,322人が熱い踊りを披露し、10,500人が見物しました。

◆第41回高幡不動尊菊まつり

10月28日～11月17日の期間中、13万人の来場者がありました。今年は町田市が新たに加わり、多摩地域12市から出品者83名、出品数が約1,500点にのぼりました。特別展示、菊作り講習会も好評でした。

◆第45回日野市産業まつり

11月12日、13日に行われ、震災の影響で中止となった「第14回ひの新選組まつり」の一部を実施しました。中央公園に出店し、観光案内とスーパーボールすくい、グッズ販売を行いました。今年は市がアニメ薄桜鬼とのコラボレーションを行い、新選組ファンの来場者が増えたためグッズの売れ行きが両日ともに好調でした。13日には、日野市舞踊連盟による民謡流しも行われ、来場者数は57,000人となりました。

◆第6回たかはたもみじ灯路

11月22日、23日に行われました。今年も約2,200個の灯籠が灯され、35,000人の人出がありました。鎮魂と復興への願いが込められた灯籠も飾られ、義援金箱や被災地への応援メッセージボードの設置もありました。一時少雨に見舞われましたが恒例のミニコンサート、歌声喫茶、お茶会、写真撮影会には多くの人出があり、また今年は潤徳小の子供たちによる絵灯籠も加わり、淡い光が駅周辺を包みました。

◆高幡不動尊節分会

2月3日に行われ、福袋850個を販売しました。今年も天候に恵まれ例年以上の人出となりました。

◆第45回伸びゆく日野市写真コンクール

今年58人の応募者に、256枚の作品が集まりました。例年に比べ少なめですが力作揃いの応募となりました。入賞作品は、市役所ロビーにて2月24日～3月6日の間展示されました。

これからの行事予定

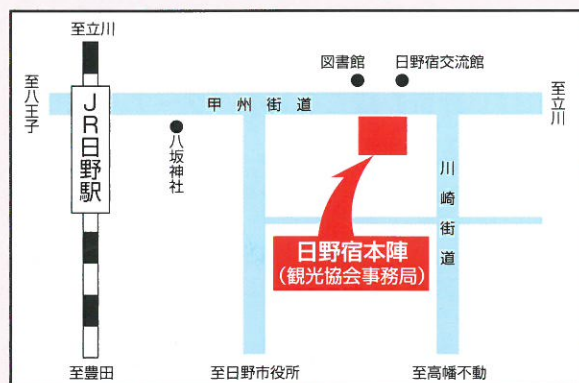
- 4月7日(土)・8日(日) 第7回平山季重まつり (平山城址公園駅周辺)
- 4月27日(金)～29日(日) 高幡不動尊国宝まつり (高幡不動尊)
- 4月29日(祝) 第15回ひの新選組まつり 隊長コンテスト (高幡不動尊)
- 5月12日(土)・13日(日) 第15回ひの新選組まつり (市内各所)
- 6月1日(金) 平成24年度定期総会 (高幡不動尊信徒会館)
- 7月29日(日) 第12回ひのよさこい祭 (豊田駅北口周辺)

バナー広告主募集

現在日野市観光協会では、ホームページのバナー広告主を募集しております。会員割引もございますので、ぜひご検討下さい！
お問合せは日野市観光協会事務局まで！

特定非営利活動法人日野市観光協会 事務局

9:00AM～5:00PM (月曜定休)
〒191-0011 東京都日野市日野本町 2-15-9
TEL(042)586-8808 FAX(042)586-8961
E-mail info@shinsenhino.com



会員募集

特定非営利活動法人日野市観光協会では会員を募集しています。日野市の観光や新選組、その他イベント等に興味のある方のお入会をお待ちしています。詳しくは事務局までお問い合わせください。

編集後記

“現在才明白了” これは北京で生活して一年、生活を通じて中国の歴史を思い、何事も“そうかなるほど”と感じさせられる言葉です。観光だよりを発刊するにあたり、日野で目にする光景に“中央線が好きだ”新選組のふるさと日野が紹介されていて、また新選組検定なども開催され、そして会員の観光活動状況を見て、北京で感じさせられている事のように“そうかなるほど”と、中国と比べて良き日野をさらに思う (MT)